



市民ネットワーク 議会通信

2016年
千葉市議会第4回定例会
11月25日～12月14日



編集・発行 市民ネットワーク

千葉市中央区中央4-10-11 Tel&Fax 043-201-2551 <http://shimin-network.jp/>



(市議会議員) 渡辺 忍 松井かよ子 岩崎明子

本年も貴重なご意見を真摯に受け止め、市民目線で提案をしていきます。

国の経済対策に応じた千葉市の補正予算

政府が8月に決定した「未来への投資を実現する経済対策」に基づき、国費4兆5221億円が追加されました。これに応じて市が計上した補正予算額は76億7600万円となっています。

補正予算で提案された市の事業

国の「未来への投資を実現する経済対策」の中に「一億総活躍社会の実現の加速」があり、市は以下のような事業を提案しました。

*保育士修学資金等貸付事業

→ 保育士不足を解消するため、保育士資格を目指す学生に対し、市費で入学準備金を10万円上乗せして30万円まで貸し付ける。潜在保育士の就職準備金については、国の制度改正によって20万円上乗せして40万円までとする。市内の保育所等で勤務することによって、返還が免除される。

*学校施設の環境整備

→ 平成29年度に予定していた外壁改修(小学校3校、中学校2校 1校当たり約1億1700万円)、トイレ改修(小学校9校、中学校2校 1校当たり約9900万円)、音楽室及び特別支援学級へのエアコン整備(中学校27校 1校当たり約800万円)などについて前倒し実施する。

松井かよ子

あれ? 「学校の外壁改修」は「一億総活躍社会の実現の加速」になるの?

「一億総活躍社会の実現の加速」には「子育て・介護の環境整備」が含まれます。「子育て」は「学校」と関連があります。それゆえ「学校」の「外壁改修」は「学校施設の環境整備」になるのうたい文句で、補正予算が計上されることになりました。

このような国のばらまきには疑問がありますが、市民のための事業を迅速に進めるべきとの観点から、市民ネットワークは提案に賛成しました。

注目! 陳情の結果

- ・公民館への指定管理者制度の導入について慎重な審議を求める陳情 ↓ 2回の継続審査の後、今回は市民ネットワーク・自民・共産の賛成により、ようやく採択されました。
- ・政務活動費の領収書等の議会ホームページでの公開を求める陳情 ↓ 現在は閲覧のみですが、市民ネットワークも賛成し、採択されました。
- ・(仮称)毘沙門堂稲毛霊廟の経営協議前の手続きに関する陳情 ↓ 継続審査となりました。

渡辺 忍 一般質問 岩崎明子

住み慣れた地域でずっと暮らすために

介護・医療・予防・生活支援の地域連携の核としての役割を担うあんしんケアセンターが今年4月から6か所増え、市内全30か所となります。高齢者福祉のみならず、生活困窮や同居の家族の問題(ひきこもり・障がいを持つ子など)も抱える複合支援を必要とする世帯の増から、保健福祉センターによるバックアップ・サポート体制を要求。

今年4月より要支援1、2の方向けの予防事業(訪問介護・通所介護)が全国一律の制度から市町村事業へ変わり、地域の多様な担い手が必要となります。先進事例を広く市民にも伝えるための情報共有の仕組みを要望するとともに、住民主体で立ち上げる介護予防や生活支援を目的としたサービス事業への補助制度の基準を確認し、NPOなど市民活動団体への金銭的支援、拠点確保を求めました。

いのちをつなぐ『赤ちゃん縁組』を千葉でも!

全国で2014年度中に虐待により死亡した子ども71人のうち2割が生後24時間以内に死亡しています。予期せぬ妊娠、社会的孤立や貧困、精神疾患など妊娠期からの相談支援が急務です。早い段階から虐待を防止するための妊娠SOS専用の相談体制整備と、生まれてすぐの赤ちゃんを特別養子縁組*を前提に子を望む夫婦に里親委託する『赤ちゃん縁組』の取り組み強化を求めました。

*特別養子縁組とは…「家を継がせる」ことを目的とした普通養子縁組と異なり、様々な事情により育てられない子どもが家庭で養育をうけられるよう「子どもの利益と福祉」のためにある養子縁組制度



みんなが残さず食べる学校給食

子どもの学齢に合わせ栄養バランスが考えられている学校給食は、なるべく残さず食べてもらう工夫が必要です。「地産地消で農業等の使用が少ない食材を使う」「調理済み加工食品や化学調味料は使わない」「食事を楽しく食べる環境づくり」「教職員や親からの効果的な声かけ」等を求め、また食育の中で、自分が選んだ食べ物により体と心が作られることを学び、将来に生かせるよう要望しました。



視察した南房総市「おいしいご飯給食」

公共施設には無添加のせっけんを!

様々な立場の人が使う公共施設の手洗い洗浄剤は、体に害がなく、環境に優しいものを使うべきです。米国で19種の抗菌剤入りせっけん類の販売を中止した例もあります。「必要に応じて購入方針を見直す」との答弁を受け、購入基準に『石ケン素地』『純石ケン』表示の物を使う『EDTA等の化学物質を含まない』と追記することと、委託清掃業者等への周知徹底を強く要望しました。

市民と職員協働で浸水被害を防ぐ

「ゲリラ豪雨」による浸水被害が繰り返され、多くの市民が困っています。市は調整池の容量拡大等ハード的整備をしましたが、街の都市化で土に浸透する雨水が減るなか、想定以上の雨量で被害が起きます。まちなかの小さなダム「雨水貯留槽」の設置数を、今以上に増やすことが必要です。ちばレポ*市民と協働することについては「集水樹清掃の『テーマレポート』実施を検討する」と前向きな答弁がありました。

*ちばレポ: スマホで市民が道路等の不具合を通報したり、作業イベント等に参加できるシステム



議員の報酬を決めるのは議員

期末手当引き上げに反対

議員の期末手当を0.1月分引き上げる議案が、37名の議員から出されました。同時期に行われる、市職員の期末・勤勉手当等の引き上げに合わせた形の提案でした。

- ①財政難のため、現在市長、副市長をはじめ若年層を除いた職員の給料はカットされているが、議員報酬はカットしていないこと。
- ②例えば、局長級のモデル給与例と議員を比べると、議員が149万8400円多く、局長級は給料を6%カットされるので、さらに差が広がること。
- ③政務活動費の用途など、議会に厳しい眼差しが

向けられている今、議員の期末手当増額に市民の理解は得られないこと。

以上の理由から市民ネットワークは反対しました。賛成多数で可決してしまいましたが、市民ネットワークでは増額分を、女性や子どもの支援等を行う団体へ寄付することとしました。(岩崎明子)